

第28回田原市市民協働まちづくり会議

日時：令和元年10月25日（金）午後6時から
場所：田原市役所南庁舎4階 政策会議室

1 あいさつ

2 議 題

（1）令和元年度市民活動支援制度の活用状況について 【資料1】

（2）令和2年度の市民活動支援制度（案）について 【資料2】

（3）しみのひろばの開催について 【資料3】

（4）市民活動支援センターの運営について 【資料4】

3 報告事項

（1）各主体の取り組み（委員連絡票） 【資料5】

4 その他

○意見交換等

配布資料

【名簿・配席表】 ※当日配付

【資料1】令和元年度市民活動支援制度の活用状況

【資料2】令和2年度市民活動支援制度（案）

【資料3】しみのひろば企画書

【資料4】市民活動支援センターの運営について

【資料5】委員連絡票 ※当日配布

第28回田原市市民協働まちづくり会議 委員名簿

任期：平成30年4月1日～令和2年3月31日

【委員】

番号	職名	委員氏名	役職等	備考	
1	会長	みつや かつし 三矢 勝司	名古屋工業大学コミュニティ創成教育研究センター 非常勤研究員 NPO法人岡崎まち育てセンター・りた事務局次長	5号委員 (学識経験者)	
2	副会長	ふくた よしこ 福田 佳子	田原市地域コミュニティ連合会理事	2号委員 (市民活動団体)	
3	委員	すきがら みわこ 鋤柄 美和子	— (公募) —	1号委員 (公募市民)	
4	委員	はしもと さとえ 橋本 聡恵	— (公募) —	1号委員 (公募市民)	
5	委員	みずの かずみち 水野 一道	— (公募) —	1号委員 (公募市民)	
6	委員	すずき かきつ 鈴木 嘉希津	田原青年会所財務担当理事	2号委員 (市民活動団体)	
7	委員	とりい かずこ 鳥居 和子	田原市ボランティア連絡協議会副会長	2号委員 (市民活動団体)	
8	委員	ほんだ ちえ子 本多 ちえ子	田原市文化協会副会長	2号委員 (市民活動団体)	
9	委員	おおかわ たかよ 大河 孝代	田原市体育協会会計	2号委員 (市民活動団体)	
10	委員	おざわ みほこ 小澤 美穂子	NPO法人たはら広場	2号委員 (市民活動団体)	
11	委員	たかさき ゆうぞう 高崎 雄三	田原市商工会副会長	3号委員 (事業者の団体)	
12	委員	すずき てるひこ 鈴木 照彦	J A愛知みなみ代表理事専務	3号委員 (事業者の団体)	
13	委員	いしかわ けいし 石川 恵史	田原市企画部長	4号委員 (市の機関)	

【事務局】

企画部 企画課	大羽 浩和（課長） 河口 圭子（課長補佐兼係長） 下形 めぐみ（主事補）
---------	--

第28回田原市市民協働まちづくり会議 配席表

令和元年10月25日（金）午後6時から
田原市役所南庁舎4階 政策会議室

会長 三矢 勝司

(名古屋工業大学コミュニティ創成教育研究センター)

(NPO 法人岡崎まち育てセンター・りた)

委員 橋本 聡恵
(公募委員)

委員 鋤柄 美和子
(公募委員)

委員 水野 一道
(公募委員)

委員 鈴木 嘉希津
(田原青年会議所)

委員 鳥居 和子
(田原市ボランティア連絡協議会)

委員 大河 孝代
(田原市体育協会)

委員 小澤 美穂子
(NPO法人たはら広場)

委員 高崎 雄三
(田原市商工会)

委員 鈴木 照彦
(JA愛知みなみ)

委員 石川 恵史
(田原市企画部)

事務局（企画課）

企画課長 課長補佐兼係長 主事補
大羽 浩和 河口 圭子 下形 めぐみ

出入り口

令和元年度 市民活動支援制度の活用状況

1 市民協働まちづくり事業補助金

市内の市民活動団体が行う公益的な事業（地域づくり、福祉、環境保全等）の事業費の一部を支援する制度。団体の自立を促し、目的実現を支援するため、補助は3年を限度としている。
(補助率1/2、上限20万円)

(1) 補助額5万円以上20万円以下（補助対象経費20万円以上）の事業

A 一般事業

団体名・「事業名」	事業内容	補助額 (補助対象経費)	事業担当課
たはらサンドアート実行委員会 「たはらサンドアートフェスティバル」	田原市の「美しい砂と海」という資源を有効活用し、障がい児が活躍できる場を提供し、障がい児に団体行動の大切さやチームで目標を達成することの楽しさを体験してもらう事を目的とする。障がいのある人に関わる機会の少ない人たちが、この事業を通して交流を深め偏見を無くし、理解や意識が高まると考える。	200,000 円 (786, 200 円)	地域福祉課
渥美半島環境活動協議会 「未来につなぐ渥美半島の環境を考えるためのプログラム」	渥美半島の豊かな自然を守り、活かし、つないでいくために地域のよさを共有し、渥美半島の魅力をより高めるために何ができるか考えるために、渥美半島の環境についておしえてもらう講演会、ともに考えるための若者ミーティング、そして渥美半島で生きる人たちとつながるためのフォーラムを開催して、渥美半島の豊かな環境を未来につないでいくことができるようにしたい。	172,000 円 (385, 300 円)	環境政策課
風の学校・はやぶさ 「田原風の後継者育成事業」	田原風の後継者育成及び田原風の文化継承を目的に、田原風の操作の風授業、風づくり教室を経て、田原風合戦参加・豊橋・細江風揚げ大会参加を目指します。	200,000 円 (547, 500 円)	文化財課

(2) 補助額5万円未満（補助対象経費10万円未満）の事業

団体名・「事業名」	事業内容	補助額 (補助対象経費)	事業担当課
大草の歴史と文化を学ぶ会 「大草の歴史と文化を保存・継承する事業」 (3回目)	地域の歴史や文化を学び、研修を深め次世代へ伝えるため、史跡の整備・保存を進める。	49,000 円 (99,000 円)	文化財課

2 市民活動チャレンジ支援補助金

市民活動の担い手を増やし、地域活性化につなげることを目的として、青年層の市民による公益活動を支援する制度。若者が公益活動にチャレンジし、楽しみながらまちづくりに取り組めることを期待。(補助率1/2、上限10万円)

◆おおむね18～40歳の市民5人以上で構成される団体

→応募団体なし

3 新規団体活動補助金

新しく設立された団体の活動経費の一部を支援するもので、市民活動団体の新しい担い手づくりを目的とする。(補助率10/10、上限5万円)

◆当該年度に設立満2年に満たない団体

団体名・「事業名」	事業内容	補助額 (補助対象経費)	事業担当課
田原みんなの学校 「子どもの健全育成の ための環境づくり」	ドキュメンタリー映画「みんなの 学校」を鑑賞と、大空小学校元校長 の木村泰子先生との交流を通じ、子 ども達と子どもの周りの大人の関 わりが深く豊かになることを願う。	50,000 円 (250,000 円)	学校教育課

4 人材養成活動補助金

団体の活動に関する専門知識を習得する講座・研修等で、公益活動の推進に有効なものへの参加費や旅費を支援する制度。

【講座研修枠】

→応募団体なし

【先進事例視察枠】

→応募団体なし

5 市民提案型委託事業制度

市民活動団体からの提案による事業の委託制度。市から目的を決めて募集する「テーマ提示型」と、団体が分野や取り組みを自ら考えて提案する「自由テーマ型」がある。

【テーマ提示型】

(1) 募集テーマ 男女共同参画啓発事業（委託費上限：130,000円）

(2) 募集期間 4月1日（月）～7月31日（水）

→女性会議ウィットWIT【連続講座「共生する地域社会」～ わたしからの発信～】

【自由テーマ型】

(1) 募集期間 4月1日（月）～7月31日（水）

(2) 周知方法 4月号広報及び田原市ホームページ

→応募団体なし

る子に居場所を
アートフェスを企画

はやし
林

ともや
智也さん(33)

「理解がないと無意識に差別されてしまつのが障害のある子ども。安心できる居場所を増やしたい。愛知県田原市で砂遊びを通して、障害のある子どもたちと交流する。たとえばサンドアートフェス、ティールを二〇一七年に始めた。一年一回のイベントを企画する。」

の

今年七月に田原市で小中学生の

「自閉症スペクトラム症候群」と診断されたことだった。少しでも息子が過ごしやすいくなれば、残業の多かった運送会社を辞め、朝夕に施設まで送迎ができる時間帯の仕事に転職。空き時間を子どものための活動に使っている。

落ち着きがなかったり、人との距離が近すぎたりするが、笑顔いっぱいでは生活する大陽君。「発達障害は空気が読めない、性格が悪い」と思われがち。理解しよつとすれば、互いに気持ち良く過ごせるんです」

「理解がないと無意識に差別されてしまつのが障害のある子ども。安心できる居場所を増やしたい。愛知県田原市で砂遊びを通して、障害のある子どもたちと交流する。たとえばサンドアートフェス、ティールを二〇一七年に始めた。一年一回のイベントを企画する。」

2019/5/12(日)
13:00~16:30
赤羽根コバーク
 (愛知県田原市赤羽根西海岸)
浜南天崎サンパルクたはら

第2回はらサンドアートフェスティバル

TAHARA SANDART FESTIVAL

— プログラム —

○グループでつくるサンドアート
 障がいを持つ子どもたちと大きな作品をつくります。
※事前申込みが必要です。

○モニュメント砂像 制作：保坂 徹彦

— ゲスト —



保坂 徹彦/サンドアーティスト
2019年サンドアート世界大会優勝

○サンドアート体験教室
 大人も子どもも参加可能な体験教室です。
提供 遊美モーターズ

○宝さがし
 砂の中からお宝を見つけよう！

すべて参加無料！
みんな来てね～

田原サンドアートフェスティバル

※申込み・詳細はHPにお進みください
 お問い合わせ先 0531-36-6525 事務局(株)

ヘルプマークって知ってる？

ヘルプマークは援助や配慮を必要としていることが周囲からは分からない方々のために制作されたものです。最優先は、ヘルプマークが必要な方へのいちいち言葉・表情やアッパを指します。






オフィシャルサポーター お笑い藝人 金田 博 

supported by 

たはらサンドアート実行委員会は、障がいを持つ子どもたちの「安心でできる居場所づくり」と差別や偏見がなく、誰もが自分らしくありのままでいられる社会の実現「ノーマライゼーションの地域づくり」を目指して活動しています。



CITIZEN'S PLAZA

市民のひろば

市民の皆さんからの投稿作品をご紹介します！



[投稿者]

風の学校・はやぶさ

☎090-2131-4352
(鈴木裕)

風の学校・はやぶさを設立しました！

「ドーンドーン!」、5月の大空に号砲が轟き響く。
「子どもだと思って侮るな!」と、法被姿のおじさんたちに発破を掛ける田原風保存会藤城会長。笑顔のおじさんたちの横に、中学1年生・小学校6年生の子どもたち14名が、びくくり顔で整列しています。

第58回田原風まつり、けんか風合戦の開会式。今年2月、伝統の田原風合戦に、子どもたちが赤青に分かれ参加すると表明、いよいよその合戦の日がやって来ました。

5年前「伝統の田原風を教えてください」と、田原中部小学校4年生担任の藤原先生から声が掛かり、田原風授業が始まりました。その後「おじさん、日曜日も風揚げ教えてください」と、当時4年生の柴田湊李くんの一言から、本格的な田原風練習が始まりました。

日曜日練習も2年経ち、子どもたちも来年は中学生、中学校には風の組織はありません。仲間と相談し、田原風の学校を作ろうと動き出し、昨年12月、「風の学校・はやぶさ」を設立し、今年4月、開校式を行いました。

合戦開始の合図が上がりました。赤はやぶさの1番手は林大和くん。「行きまっす!」の掛け声と共に、一気に上空から青陣営の風に襲い掛かり、大和くんの素早い動きに逃げ遅れた青風3枚と、巴戦になりました。

「青切れたぞ!」「お見事! 赤はやぶさ初参戦3枚切り、30点獲得! おめでとう!」と名物審判長・山下政良市長の声が弾みます。その後も、立岩千田くんや岸上裕弥くんの活躍もあり、合計90点獲得、堂々の3位でした。大人もびくくりの見事な初陣でした。

※詳細は、「遼美半島の風・第4号」に掲載しましたので、ご覧ください。

風の学校・はやぶさのスローガンは「大空の文化を楽しく次世代に!」です。江戸時代から伝わる大空の伝統文化を絶やさないよう、田原風保存会の皆さんと一緒に頑張ります。応援よろしくお願いします。風の学校では、新規入校希望者を募集しています。興味がある方は一度お電話ください。



▲風揚げの練習に励む子どもたち



▲3位入賞を果たし、記念写真を撮りました



▲「遼美半島の風・第4号」

令和2年度 市民活動支援制度(案)

1 市民協働まちづくり事業補助金

○これまでの採択団体から意見聴取結果

申請書について	・ 始めて申請する団体にとって申請書の記載が難しい。
報告書について	・ 報告書に添付する領収書は全て必要であるが、領収書の宛名が団体名で出ない場合がある。(必要物品をインターネットの通信販売で購入し、個人の口座から決裁をするケースがある) ・ 報告書の作成が煩雑であり難しい。
審査会について	・ 審査会でプレゼンテーションをしなければならないためハードルが高い。 ・ 申請書で思いが書けない分、プレゼンテーションがあれば思いを伝えられる。

制度内容	○現行制度を一部変更 通常枠から「市民活動団体交流事業（しみんのひろば）」を削除する。 【通常枠】 補助対象経費 10 万円以上 ・ 補助額／補助率 上限 20 万円／2 分の 1 ・ 審査方法 書類審査（関係部署の意見聴取含む） 公開審査会（協働会議委員から審査委員を選出） ・ 募集期間 期間を区切り設定 ・ 二次募集 予算残額の状況により実施 【少額枠】 補助対象経費 10 万円未満 ・ 補助額／補助率 上限 4 万 9 千円／2 分の 1 ・ 審査方法 書類審査（関係部署の意見聴取含む） ・ 募集期間 随時受付 ・ 二次募集 実施無し
予算要求額	【通常枠】 60 万円 一般事業 60 万円（20 万円×3 団体） 【少額枠】 15 万円（5 万円×3 団体） ※平成 31 年度予算要求額 通常枠 80 万円（20 万円×4 団体） 少額枠 15 万円（5 万円×3 団体）
検討課題	○制度の効果的な周知 ○各分野（市各部署）における支援のあり方

2 市民活動チャレンジ支援補助金

制度内容	○現行制度を維持 5人以上のおおむね18歳から40歳までの青年層の市民で構成されている団体が対象 ・補助額／補助率 上限10万円／2分の1 ・審査方法 書類審査（関係部署の意見聴取含む） ・募集期間 随時受付 ・二次募集 実施無し
予算要求額	20万円（10万円×2団体） ※平成31年度予算要求額 20万円（10万円×2団体）
検討課題	○制度の効果的な周知 ○若年層団体の発掘、誘導

3 新規団体活動補助金

制度内容	○現行制度を維持 当該年度に設立満2年に満たない団体が対象 ・補助額／補助率 上限5万円／10分の10 ・審査方法 書類審査（関係部署の意見聴取含む） ・募集期間 期間を区切り設定 ・二次募集 予算残額の状況により実施
予算要求額	10万円（5万円×2団体） ※平成31年度予算要求額 10万円（5万円×2団体）
検討課題	○制度の効果的な周知

4 人材養成活動補助金

制度内容	○現行制度を維持 【講座・研修枠】 ・補助額／補助率 上限3万円／全部または一部 ・審査方法 書類審査（関係部署の意見聴取含む） ・募集期間 随時受付 ・二次募集 実施無し 【先進事例視察枠】 ・補助額／補助率 上限12万円／全部または一部 ・審査方法 書類審査（関係部署の意見聴取含む） 審査会（非公開） ・募集期間 随時受付 ・二次募集 実施無し
------	--

予算要求額	【講座・研修枠】 6万円（3万円×2団体） 【先進事例視察枠】 12万円（3万円×4人×1団体） ※平成31年度予算要求額 講座・研修枠 6万円（3万円×2団体） 先進事例視察枠 12万円（3万円×4人×1団体）
検討課題	○制度の効果的な周知

5 市民提案型委託事業制度

制度内容	○現行制度を維持 【テーマ提示型】 ・テーマ 男女共同参画啓発事業 ・事業費 上限13万円 ・審査方法 書類審査（関係部署の意見聴取含む） 審査会（非公開） ・募集期間 期間を区切り設定 ・二次募集 予算残額の状況により実施 【自由テーマ型】 ・テーマ 設定無し（団体の自由な発想による市の施策推進が期待できる事業） ・事業費 上限100万円 ・審査方法 書類審査（関係部署の意見聴取含む） 審査会（非公開） ・募集期間 期間を区切り設定 ・二次募集 実施無し
予算要求額	【テーマ提示型】 13万円 【自由テーマ型】 →令和2年度に予算要求実施（上限100万円） ※平成31年度予算要求額 テーマ提示型 13万円 自由テーマ型 実施無し
検討課題	○制度の効果的な周知

令和2年度 市民活動支援制度展開の留意事項

- ◆ 補助採択のメリットを示して公募することで、応募団体の増加に繋げる。
- ◆ 採択団体に公的支援を受けていることへの自覚を促し、次の展開につなげる。

検討課題

- ◆ 各分野（市の各部課）における、協働施策が促進されるような仕組みづくり（施策の受け皿となる団体や人材の育成等）
- ◆ 支援制度のPRの強化、活用しやすい環境づくり

第13回 しみんのひろば企画書

市民活動支援センター

1 目 的

- ① イベントを通して、田原市内で活動する市民団体・ボランティア団体など、まちづくりに関わる団体の活動を一般市民の人たちに広く知ってもらう。
- ② 市民団体・ボランティア団体の交流だけでなく、参観する市民との触れ合いを通して、市民の力によるまちづくりへの意識を高める。
- ③ 市民活動団体と行政との協働力を深める。

2 日 時 令和元年12月8日（日）10：00～15：00

3 会 場 田原文化会館

（多目的ホール・アトリウム・ホワイエ・101会議室・201～205
会議室・アトリエ・音楽練習室・フリースペース・プロムナード他）

4 参加団体 田原市内で活動する市民団体・ボランティア団体をはじめ、まちづくりに関わる各種団体・個人

5 前日・当日の日程

○前日《12月7日（土）》 準備16：00～18：00

運営委員会を中心に、必要なパネル・机・椅子などを各ブース位置に運ぶ。

参加団体で、準備ができるところは準備を進める。

○当日《12月8日（日）》

8：30～ 9：50	準備・会場確認
10：00～10：10	開会あいさつ・・・アトリウム
10：15～15：00	ステージ・・・アトリウム・多目的ホール
10：00～15：00	パネル展示・ブースでのワークショップ
15：30	片付け
16：00	解散
17：30	反省会

6 開会行事について 進行：運営委員

①開会のことば ②運営委員代表 内容アナウンス

7 閉会行事について

② 運営委員代表 感想発表 ②閉会のことば

8 内容

- ① パネル展示
- ② 体験活動ブース
- ③ ステージ発表
- ④ 販売
- ⑤ スタンプラリー *スタンプを集めるだけでの景品配布はしない。
- ⑥ その他 テーマに沿って

田原市民活動支援センターの運営について

【1】田原市民活動支援センターの運営状況

(1) 設置目的

市民活動の活性化を図るため、平成19年度に設置

○市民活動団体に対する情報の提供

○市民、団体間の交流促進

○その他支援による市民活動の推進

(2) 設置場所及び設備

○場所：田原文化会館フリースペース内 約 15 m²

○設備：カウンターテーブル、掲示板、閲覧用パソコン、電話(内線)、メールアドレス、印刷機 等

(3) 運営体制の経緯

	運営方式	日時等
H19～21	《業務委託》 特定非営利活動法人たはら広場	金・土・日曜日／午後2時～7時
H22～	《市直営》 市民活動推進スタッフ(嘱託員)、市民協働課職員	金・土・日曜日／午後2時～7時
H23～	《市直営》 市民活動推進スタッフ(嘱託員)、市民協働課職員	火・金・土曜日／午後2時～7時
H27～	《市直営》 市民活動推進スタッフ(嘱託員)、市民協働課職員	火・金／午後1時～6時 土曜日・祝日／正午～5時
H28.4～H28.6	《市直営》 企画課協働係職員	火・金／午後1時～6時 土曜日・祝日／正午～5時
H28.7～H29.4	《市直営》 企画課協働係職員	土曜日(原則：第1・3・5) ／午後1時～午後5時
H29.5～H31.3	《業務委託》 たはら市民活動応援隊	火曜日／午後1時～6時 土曜日／正午～午後5時
H31.4～R2.3	《業務委託》 たはら市民活動応援隊	火曜日／正午～午後4時 土曜日／正午～午後4時

(4) 運営内容

○市民活動相談、情報紙発行、広報記事作成、ホームページ運営、市民活動団体交流会支援、東三河市民活動推進協議会への協力、印刷機利用受付 等

(5) 相談件数推移

年度	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
総件数	50	113	108	115	114	108	87	102	155	16	15	92

※平成 28 年度からは、相談件数集計から館内案内や雑談など軽微なものを除いている。

平成 29 年度からは、相談件数集計から印刷機の利用を除き、相談対応のみとしている。

(6) 主な相談内容

○活動相談 →NPO設立・手続き関係はどうしたらいいか

○補助金関連 →市補助金の申請相談／各種助成制度の情報収集

○広報 →市広報媒体への掲載依頼等

○一般 →情報交換

○市民活動団体交流会 →イベント出展等の相談

【2】令和2年度の運営体制（検討中）

田原市民活動支援センターは、田原市内で幅広く活動する市民活動団体に対して中間支援業務、市民協働を実践する人材育成、団体間の交流促進などを行うことにより、団体の自立と活動の充実、市民と行政との協働によるまちづくりの推進を目的として設立された。

平成28年度は、平成27年度まで従事していた市民活動推進スタッフ（嘱託員）の予算確保ができず、企画課協働係の職員2名で第1・3・5土曜日のみ従事していた。市民活動支援サービスの低下を避けるため、センター運営の手法等についての検討が喫緊の課題であったが、平成29年度には、運営体制を見直し、市民活動団体へセンター業務の委託を行った。

平成30・31年度も同様に行い、令和2年度についても、業務委託とし運営団体の公募を行う。

（1）委託団体：公募

（2）委託期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日

（3）開設日：毎週火・土曜日／正午～午後4時

※平成31年度 火・土／正午～午後4時

（印刷機利用等・・・文化会館開館日／午前9時～午後5時）

（4）委託金額：640,000円（予算）※平成31年度：470,000円

【積算の根拠】

- ・センター開設業務 1,000円×4時間×97日＝388,000円
- ・センター外業務 1,000円×50時間＝50,000円
- ・事務用品（インク等） 32,000円
- ・しみのひろば企画運営 170,000円
- 計640,000円

（5）委託内容

① 市民活動に関する情報の収集及び提供

- ア 市内外の市民活動に関する情報及び各種助成金情報の収集及び発信
- イ 市民活動だよりの原稿作成（年1回）
- ウ 市民活動だより（広報たはら）原稿作成（月1回以上）
- エ メールマガジンの発行（月2回以上）
- オ フェイスブックの投稿（月3回以上）
- カ どすごいネットを活用した情報収集（開設日毎）及び情報発信（月3回以上）

② 市民活動に関する相談及び助言

③ 市民活動の推進のための意識啓発

④ 市民活動団体間の連携及び交流促進

⑤ その他市民活動の支援に関すること

⑥ 業務の報告

⑦ しみのひろば企画運営

各委員の取組状況・意見

1	NPO法人たはら広場 小澤 美穂子 委員
○去る8月4日（日）、田原市中央図書館で開催された「図書館で議員と語らうホリデー」に参加しました。 主催した田原市議会事務局もびっくり！の多くの参加者でした。 さまざまな話し合いの後、以下の案内が広く呼びかけられました。 “田原市議会「市政公聴会」スタート”でした。 まちづくり会議メンバーで、5名以上の方々に参加してはどうでしょうか？という提案です。	

2	田原市ボランティア連絡協議会 牧野 和代 委員
○私たちボランティア連絡協議会は、ボランティアをしている人達の集まりで、定年や一線をしりぞいた人達が参加しています。（若い人のいる団体もある）定年後家に閉じこもったり、話し相手がいないなどの事がないように、ボランティア紹介セミナーとして、年2回ほど行っています。どんなボランティア団体があるのか？何をしているのか？時間があるのでボランティアをしたいと思っている人に各団体にきていただきセミナーをしています。 これからは、自分に興味のあることをし、仲間作りをして、明るく住みやすいまちづくりをめざします。	

3	田原市文化協会 本多 ちえ子 委員
少し立ち位置が違いますが、 文化協会は、会員個々の団体が地域に密着した活動であり、会員がスムーズに活動できるよう援助・支援をするところであります。 年2回の文協まつりの開催に於いて、春の文協まつりは、会員ののみの参加、秋は、市民文化祭と銘打って、市民一般の参加をいただいております。 ますます、地域密着型の活動になっていければと思います。	